

教育委員会だより

詳しくは
こちら



私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるよう、教育委員会や各学校では、さまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

未来の大牟田について語り合い、学び合い、つながろう！～ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会～

本市では、平成23年度にすべての市立学校が一斉にユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。

7月31日に「大牟田を創る子どもたちに伴走するわたしたちにできること」と題して「ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会」を開催しました。

この交流会は、大牟田市内の関係機関が、子どもたちの将来のために連携を深めることを目的として実施しています。

今年も市立学校の関係者だけでなく、幼稚園や高等学校の先生、ありあけ新世高等学校や三池高等学校、大牟田高等学校の生徒、企業や各種団体、市職員など約160人が参加しました。

はじめに、大阪・関西万博での発表を終えたOMUTAジュニア



OMUTAジュニアシティメーカーの実践発表
万博での発表は広報おおむたの8月号に掲載（7ページ）

シティメーカー（※）のメンバーから、木村美日さん（高2）と中野由媛花さん（高2）、今までの活動をサポートしてきた一般社団法人OMUTA BRIDGEの菅原知之さんと高口恵美さんが「対話と共創」をテーマに実践発表しました。

次に、グループごとに集まり、実践発表からの気づきをもとに、



12の団体・企業が、持続可能な社会づくりに取り組んでいる内容を説明



さまざまな立場からアイデアを出し合い交流

今後職場や生活の中で取り入れたアイデアを付箋に書き出し、交流しました。

さらに、昨年度から実施しているブースセッションでは、12の団体・企業がブースに分かれ、業務や製品、取り組み等を紹介しました。参加者は関心のあるブースを

選んで説明を聴く中で、どんな連携ができそうか、参考事例となるか、質問を交えながら考えることができました。

最後に、福岡教育大学の石丸哲史副学長が「OMUTAジュニアシティメーカーの活動は、教育課程の内外、学校教育・社会教育の垣根を越えて行われたことに価値がある。総合的な学習の新たな学びの在り方の提案である。子どもが育つためには、前から手招きする大人と後ろからやさしく背中を押す大人の両方が必要。この場に集まった人は、どちらの立場も演じることができるはず。大人も問題解決に向け、行動してほしい」と全体総括を述べました。



福岡教育大学の
石丸哲史副学長による全体総括

※旧橘中学校の生徒と地域の大人が対話を通じて商品を作り販売したり、中庭のデザインを企業に提案したりするまでを体験した社会参画プロジェクト。

世界文化遺産登録10周年 各学校でも祝いました！

『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』として、8県11市に点在する23の構成資産が平成27年7月8日に世界文化遺産に登録され、今年で10周年を迎えました。

各学校では、10周年を祝う記念集会を実施したり、給食委員会の

児童生徒が給食の時間に、石炭にちなんだ給食メニュー「石炭ビーンズ」を紹介したりしました。

大牟田の世界遺産学習を通じて児童生徒に感じてほしい3つの誇り

◇偉業を成し遂げた先人への誇り

◇遺産そのもののへの誇り

◇この業績を後世に引き継ぐとする誇り

について学びを深めています。



- ①オンラインでの全校集会で、校長が世界遺産についての講話をしました（吉野小学校）
- ②世界遺産に関する校内放送や校長室前に写真等の掲示をしました（羽山台小学校）
- ③給食時間にお祝いメッセージや石炭ビーンズの説明等をモニターに表示しました（三池小学校）
- ④全校児童が三角旗にお祝いのメッセージや絵を描いて、宮原坑に飾りました（駿馬小学校）
- ⑤生徒会執行部が記念の横断幕を制作しました（宮原中学校）

子どもたちが学んだ 「平和の大切さ」

本市では、夏休みの出校日に「平和学習」を実施しています。

平和学習は、平和の大切さを自分ごととして考える機会をつくることを目的として毎年実施しており、それぞれの学年の発達段階に合わせて紙芝居や絵本の読み聞かせ、動画の視聴と担任からの追加説明、感じたことの交流等を通して、戦争の悲惨さや命の尊さ等について学びます。

高取小学校では、戦争についての動画を視聴したり、6年生が長崎への修学旅行で原子爆弾について学んだことを各学級で発表し、戦争の悲惨さを下級生に伝えたりしました。



6年生が修学旅行で学んだことを発表
（高取小学校）

宅峰中学校では、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐ活動をしている市内在住・松井小百合さんの協力・指導のもと、校内放送で平和授業（命の紙芝居）を行いました。

小宮弘子さんのキーボードの演奏に合わせて「子どもたちの疎開」を3年生の生徒が朗読したり、大牟田空襲を基にした話を松井さんに朗読していただいたりしました。



校内放送で松井さんが朗読（宅峰中学校）

この学びを通して、戦争の歴史や被害の実態等を学び、命の尊さや他者への思いやりについて考える貴重な時間となりました。

戦争を体験された方々が年々少なくなっている今、こつとした学びを通して、悲惨な出来事が二度と繰り返されないように、一人ひとり、次世代にしっかりと伝えていく責任があります。

子どもたちの純粋なまなざしと真剣な言葉は、私たち大人にも多くの気づきを与えてくれます。地域の皆さんにも、ぜひこの学びの様子に触れていただき、共に平和について考えるきっかけともらえたらと思います。

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）